

### 令和7年度福建通常総会を開催

令和7年度福島県建設技術協会通常総会は、5月に書面で開催しました。

令和6年度事業及び収支決算報告並びに会計監査報告、令和7年度事業計画及び予算について審議が行われ、原案のとおり承認されました。

#### ◆ 令和7年度 役員 ◆

令和7年度役員は、規約に基づき前役員より推薦いただいた次の方々を選出されました。

会 長	福島県土木部次長 (企画技術担当)	芳 賀 英 幸
副会長	福島県土木部道路計画課長	馬 場 靖
	福島県土木部営繕課長	加 藤 敏 史
	福島県いわき建設事務所長	栗 田 豊 己
	郡山市建設構想部長	池 田 剛
会 計 幹 事	福島県土木部まちづくり推進課長	上 田 亨
	福島県相双建設事務所長	佐 藤 敬

#### ◆ 令和7年度 事業計画 ◆

令和7年度事業計画が以下のとおり承認されました。

##### 1. 組 織 部

- (1) 会員名簿の作成
- (2) 全建長期会員表彰者の推薦
- (3) 福建会員管理
- (4) 会員顕彰
- (5) 福建「功労賞」表彰
- (6) 東北地区建設技術協会連合会 広報・技術研鑽奨励賞の報告

##### 2. 調 査 部

- (1) 技術力向上に関する支援  
技術資格取得支援金、体験記謝礼等

##### 3. 事 業 部

- (1) 方部別助成  
方部別開催事業の助成、震災復興に関する活動
- (2) 文化事業方部助成  
地域貢献、ボランティア活動への助成

##### 4. 編 集 部

- (1) 機関誌発行  
建設ふくしま No.146 の発行  
建設ふくしまニュース No.87 の発行 (HP掲載)

##### 5. 研 修 部

- (1) ふくしまの未来を拓く業務発表会

##### 6. 事 務 局

- (1) 「伝承プロジェクト」の実施

#### ◆ 令和6年度 全建表彰 ◆

(令和6年度役職)

##### 1. 小沢賞

吉田 伸明 福島県県北建設事務所長

##### 2. 東北地区建設技術協会連合会 会長賞

大竹 和彦 福島県土木部次長 (都市担当)

渡邊 佳文 福島県土木部次長 (建築担当)

高萩 俊 福島県土木部参事

##### 3. 全建功労賞

玉川 善徳 福島県都市計画課長

近内 剛 福島県河川計画課長

大槻 武文 福島市建設部長

森 雅彦 福島市都市政策部長



左から、旗野所長 (富岡土木)、森山復興推進係長 (双葉町)、吉田所長 (県北建設)、須藤建築住宅部長 (兼) 建築住宅課長 (相双建設)

# 全 建 賞 受 賞 報 告

## ●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（東日本枠・河川部門）〕

<事業名> 夫沢地区海岸 公共災害復旧事業（再生・復興）

<受賞機関> 福島県富岡土木事務所

東日本大震災による津波被災を受けた夫沢地区海岸で、堤防工、樋門、消波工を施工し復旧。高線量下で作業時間が限られる中、ICT技術を活用して効率的な施工を実現。コスト縮減に努めつつ、無事故無災害で工期を24日間短縮し、出来形や出来ばえが、極めて良好な災害復旧工事を完成させた点が評価された。



## ●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（東日本枠・住宅部門）〕

<事業名> 双葉町駅西地区災害公営住宅等整備事業

<受賞機関> 福島県双葉町、福島県（福島県土木部建築住宅課）

特定復興再生拠点区域内において、帰還者向け災害公営住宅と新規転入者向け福島再生賃貸住宅を整備。避難の長期化・広域化による地域コミュニティ喪失の課題に対し、まちの復興再生に向けて、帰還町民と移住者のコミュニティ形成に重点を置いた取組を推進。多目的に利用可能な軒下空間や土間空間、自然環境・景観に配慮した建築デザインなど、計画面での工夫が見られる点が評価された。



# 全 建 賞 受 賞 報 告

●全建賞〔東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠（東日本枠・建築部門）〕

<事業名> 福島県立ふたば支援学校移転新築工事

<受賞機関> 福島県相双建設事務所

東日本大震災の影響で、避難を余儀なくされた双葉地域の特別支援教育再生を目的に、ふたば支援学校の移転新築工事を実施。



BIMデータとICT重機を連動させ、高精度かつ効率的な掘削を実現。支援学校生徒の木製パネル製作や高校生の作業体験で建設業の魅力を発信し、特別支援教育の振興と住民帰還を支える復興拠点として整備された点が評価された。

## 小 沢 賞 受 賞

福島県北建設事務所長 吉田 伸明 氏

平成2年に入会以来、その卓越した行動力と指導力により建設行政に顕著な業績を上げるとともに、豊富な知識と経験をもって後進の育成に力を尽くされてきました。

特に、道路行政においては、福島県の道づくりの羅針盤となる長期計画策定に携われたほか、複数年契約の包括的維持管理業務の導入や橋梁長寿命化計画策定による予防保全型維持管理への早期移行など、持続可能な維持管理システムの構築に尽力されました。

東日本大震災からの復旧復興については、津波被災地における新たなまちづくりやふくしま復興再生道路である小名浜道路の計画策定など、社会基盤の整備を通して地域経済の復興に資する大きな役割を担われました。

高潔な人格と高邁な見識をもって、建設技術の進捗と土木技術者の人材育成において顕著な業績を収められました。

### 事務局よりお知らせ

#### 会費について

○正会員 月会費750円(全建370円+福建380円)

○準会員 年会費(4月1日現在)80歳未満5,000円、80歳以上2,000円

納入方法は、「銀行振込」または「事務局へ持参」のどちらかでお願ひしております。

#### ■銀行振込■の場合

振込銀行口座：東邦銀行 県庁支店 普通口座 1719

福島県建設技術協会 会長 芳賀英幸

※手数料はご本人の負担となります。

※準会員の方は、必ずご本人のお名前でお振り込みください。

#### ■事務局へ持参■の場合

事務局所在：県庁土木部河川整備課内 福島市杉妻町2-16

(本庁舎1階)事務局員 遠藤 季代子

#### 福島県建設技術協会ホームページ

<http://fukken.net>

技術資格取得支援の情報や全建講習会リーフレットなど



#### ■事務局■ 福島県土木部河川港湾総室

TEL 024-521-9820 FAX 024-521-7952

- ・事務局長 猪狩 洋  
(河川整備課 主幹兼副課長)
- ・副事務局長 中村 太郎  
(河川整備課 主任主査)
- ・書記 鈴木 颯  
(河川整備課 技師)
- ・会計 武田 直樹  
(河川整備課 主査)
- ・庶務 竹本 智仁  
(河川整備課 主査)
- ・総務 大川原 諒  
(河川整備課 副主査)
- ・事務局 遠藤 季代子

#### ■編集部■ 福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511 FAX 024-521-7956